

## 2017年度卒業生に対する2020年度追跡調査の結果について

東日本国際大学 教育改革推進室／高等教育研究開発センター

本学では、いわゆる3年以内離職率に関係するような就職先とのマッチングの状況などを、既卒業生に対して定期的に調査している。

2020年度は、2017年度卒業生のうち、調査への協力同意を卒業時に明示的に得られていた23名に対して2020年10月に依頼をし、オンラインで集計、3名からの有効回答を得ることができた。今年度は回答数が少なかったことから、文書形式で集計結果を報告する。

### 1. これまで仕事・生活をする中で、在学中にもっと身につけておけば良かったと思うようになった知識や能力

「経済の勉強をもう少し真面目にしておけばよかった」と、これまでの追跡調査でも明らかになっていた「専門分野の知識について、もう少し勉強しておけば良かった」といった意見が寄せられた一方、「より多くの資格取得」という意見が2名から寄せられた。前者のような意見については、これまでも在校生にフィードバックしている、また資格取得については、エクステンションセンターの尽力により進んではいるが、両方の点ともに卒業生からの声として在校生により効果的にフィードバックする方法を再考したい。

### 2. 在学中に学んだこと・身に付けたことで、今役に立っていること

「人間としての価値観」という本学の建学の精神に通じる意見があり、本学における人間力教育が役に立っていることが確認された。また「部活での忍耐力」という意見が寄せられており、本学における部活が、就職後の活動に役立っていることもあらためて確認された。

### 3. 今の職場への満足度

### 4. 転職等をすでにしているか、今後考えているか

### 5. 現在の仕事について不満な点等

今回の回答者は、現在の職場に「まあまあ満足している」2名、「少し不満な点がある」1名との回答であった。前2名は転職もしておらず、予定もないとのことであるが、「少し不満な点がある」という卒業生は人間関係や仕事の考え方について不満があり、これまでは転職せずに頑張ってきたが、転職を考えているとのことであった。また、前2名のうち1名から給料面についての不満が回答されている。これらの点については、就職してみないと分からない点もあるにせよ、今後のキャリア指導において留意すべき点としたい。

## 6. その他、在校生や教職員へのコメント

在校生に対し「大学時代の4年間は2度と返ってこない自由な時間がたくさんあるので、後悔のないように過ごしてほしい」「在校生の皆さんは在学中に出来る経験をした方が良いと思います。(以下略)」といった、大学在学中に多様な経験をすることを勧める意見が寄せられ、また「教職員がそれらをサポートしていることが良かった」とのコメントもあった。これらは、新型コロナウイルス感染拡大下でこれらの多様な経験が難しくなっている状況に対して、より一層のサポートが必要なことを示している。